

緑山

令和7年度

第11号

令和8年3月19日発行

文責：校長 岸本行夫

令和7年度 卒業証書授与式

3月7日(土)、令和7年度卒業証書授与式を行いました。卒業式当日は、厳しい寒さの中にも春の訪れを感じる晴天にも恵まれ、卒業生一人一人が堂々と式場へ入場する姿に、卒業生の達成感と乗り越えてきた自信が伝わってくるとともに、今回の卒業式が中学校生活において最高の思い出になればと思いました。

在校生代表の送辞は、生徒会副会長の大野さんでした。部活動や全国駅伝大会に向けての練習を通して先輩から励ましの言葉をかけてもらったり、生徒会活動での先輩方のリーダーシップや様々な場面で後輩をやさしく指導していただいたりしたことに感謝し、卒業生の今後の活躍を祈りました。

卒業生代表の答辞は、前生徒会長の門脇さんが行いました。コロナ禍でスタートした中学校生活はとても不安が大きかったこと、自身が生徒会長として仲間とともに頑張った体育祭は中学校生活において最高の思い出となったこと、そして、一緒に苦楽を共にした後輩へのエール、支えてくれた先生方や家族への感謝の気持ち、最後に3年間共に過ごした仲間への感謝と今後の決意を堂々と述べてくれました。(答辞の一部を裏面に掲載)

このたび本校を巣立つ205名の卒業生の皆さんは、どんな時でもあきらめず努力を続けること、そして仲間を大切にすることを日々実践し続けました。松江第四中学校で身につけた多くの力を自信とし、それぞれの道で今後も活躍されることを心から応援しています。卒業おめでとうございます。



3年生を送る会

卒業式の前日3月6日(金)に、生徒会執行部の企画による「3年生を送る会」が開催されました。3年生の各クラスが紹介される中、3年1組から順に体育館へ入場しました。開会セレモニーに続き3年生に関するクイズを行い、在校生から3年生へ、各クラスで工夫を凝らして撮影した応援ムービーを上映し、在校生合唱「世界に一つだけの花」を感謝の思いを込めて歌いました。

後半は卒業生の3年間の思い出を写真と共に振り返りました。さらに、これまで中学校生活でお世話になった旧職員からのメッセージムービーを見ながら中学校生活を懐かしみました。

3年生から在校生には、代表生徒からの応援メッセージと学年合唱、さらに応援のエールが送られ、在校生へのお礼と励ましが行われました。そして、3年生は「らるたん」とハイタッチをしながら会場を後にしました。

卒業する3年生にとって今回の送る会はとても心温まる会となりました。企画・運営をしてくれた生徒会18役のみなさんお疲れさまでした。



祝 第37回山陰中央新報スポーツ優秀選手賞

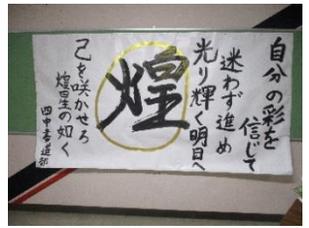
第37回山陰中央新報スポーツ優秀選手賞は、鳥根県内の中・高生の中から2025年の国内外のスポーツ大会で特に優秀な成績を収めた個人及び団体に贈られる賞です。

このたび、本校1年生の楯龍之介さんが、ジュニアオリンピックカップ12歳～13歳の部 高飛び込みと1m板飛び込みの2種目でそれぞれ準優勝に輝き、2月26日(木)に山陰中央新報社で授賞式が行われました。このたびの優秀選手賞受賞おめでとうございます。今後のさらなる活躍を全校で応援しています。



【卒業生 答辞】

(前略) 僕がこの3年間で1番思い出に残っているのは3年生の最後の1年間です。「ONE 4 ALL ALL 4 ONE ~自分のために みんなのために~」というスローガンを掲げ挑んだ最後の1年間。僕は生徒会長としても野球部キャプテンとしてもこのスローガンのもとみんなと駆け抜けました。部活動では3年間の集大成となる市ブロック大会がありました。この大会では県総体に進めてうれしかった人もいれば負けてしまい部活動を引退となった人もいます。僕もその一人でした。大会が終了してすぐは後悔しかありませんでした。しかし今となってはこの悔しい経験が自分の成長につながったと思っています。



そして体育祭。この3年間で1番熱く1番最高の思い出となりました。みんな準備から誰一人手を抜かず、どの色も優勝するぞという気持ちが伝わってきました。本番では順位が付きましたが、その結果にうれし涙を流す人もいれば、悔し涙を流す人もいて、みんなの様子からこの体育祭にどれだけ本気で向き合ってきたのかが改めてわかりました。僕は、この体育祭は一人ひとりの力が合わさり、みんなが最後まで全力で楽しむことができた、記録ではなく記憶に残る僕たちにしか作ることのできない最高の体育祭になったと思います。他にも合唱コンクールなどの学校行事や、日々の生徒会活動がありました。18役のみんながいつもそばで支えてくれたから、1つ1つのことにみんなが真剣に取り組んでくれたから、思い出に残る最高の1年間となりました。

在校生の皆さん。いつも僕たちをあたたく支えてくれてありがとうございました。皆さんの支えがあったからどの行事も成功させることができました。これからは皆さんがこの四中を引っ張っていく番です。そこで大事にしてほしいのは「あきらめない」こと「努力し続ける」こと、そして「仲間を大切にすること」です。諦めずに努力を続け、後悔のないよう思いっきり中学校生活を楽しんでください。

先生方。僕たちが困っていたり苦しんでいたときはいつも親身になって話を聞き、寄り添ってくださり本当にありがとうございました。先生方のやさしさ、温かさにはいつも救われました。僕たちは本当にやんちゃでいつも迷惑ばかりかけてしまっただけで本当にすみませんでした。それなのに先生方はいつも笑顔で僕たちのことを優しく見守ってくれて、時に厳しく背中を押してくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ユーモアがあって、面白く、温かくて優しい、そんな素晴らしい先生方に出会い、僕たちは成長することができ、この3年間でとても充実したものになりました。言葉では表すことのできないくらい感謝しています。ありがとうございました。



お父さん、お母さん、そして家族のみんな。思春期、反抗期真っただ中の僕たちをいつも支えてくれてありがとう。言うことを聞かずにたくさん反抗してごめんなさい。素直になれずに本当にごめんなさい。いつもは恥ずかしくて言えないけど今日はたくさん言いたいと思います。いつもおいしいご飯を作ってくれてありがとう。お父さん、お母さんが作ってくれるご飯が世界一おいしいです。いつも送り迎えしてくれてありがとう。いつもいろいろなところに連れて行ってくれたから僕たちも集中して部活や勉強に打ち込むことができました。そしてうまくできたときは、たくさんほめてくれて、失敗したときはいつも僕たちのそばで優しく見守ってくれてありがとう。これからもたくさん迷惑や心配をかけるかもしれないけど僕たちも少しでも親孝行をしていけるように頑張るからこれからもよろしくお願ひします。

そしてこの3年間中学校生活を共にしてきた3年生のみんなへ。僕は本当にみんなに会うことができよかったです。僕は何事にも手を抜かず全員で全力でやるこの学年が大好きです。どんなにつらいこともみんなとなら乗り越えられると思えるこの学年が大好きです。そして誰かが苦しんでいたたり困っていたりする時には必ず手を差し伸べるこの学年が大好きです。どんな時も仲間がいつもそばにいたからこの3年間ここまで頑張ることができたし、こんなにも楽しい学校生活を送ることができたのはみんなのおかげです。みんなにとって僕は、頼りない生徒会長だったかもしれません。それでも、僕についてきてくれてありがとう。僕は今日でみんなと会えなくなってしまうという実感がまだ全くわきません。でも、心の中ではいつも一緒です。たとえ離れていても、同じ空の下にいるからきっとまた会えます。だから、そのときは、お互いもっと成長した姿で会えるように僕も頑張ります。

いよいよお別れのときが近づいてきました。みんなと教室で話をする、給食を食べる、そんな「当たり前」の日々はもう二度と返ってきません。「当たり前」。僕たちが生まれた年に起きた大きな地震はそんな「当たり前」の日々をいっぺんに変えてしまいました。僕は思います。「当たり前」とは「奇跡」なのです。そんな「当たり前」という名の「奇跡」の日々を過ごしているのは、いまを生きる人々の努力の積み重ねがあるからです。この日々に感謝し、それぞれの夢に向かってひたむきに努力し、明るい未来へと一歩一歩歩いていきます。3年前の不安でいっぱいだった僕に胸を張ってこう言いたいです。『この学校に入学することができて、こんな素晴らしい先生方と出会うことができて、



そして、こんなにも最高の仲間と出会うことができて、本当に今幸せだよ。』

卒業生代表 門脇優人

令和7年度 お世話になりました

令和7年度も残すところあとわずかとなりました。今年度を振り返ると夏の猛暑、1月の地震被害、そして2月には大雪による臨時休業がありました。全ての教育課程を終了し無事修了式を迎えることができることとなりました。

平素より、保護者や地域の皆様方には温かいご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。来る令和8年度も、保護者や地域の皆様方には、四中教育に対し変わらぬご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。(校長)